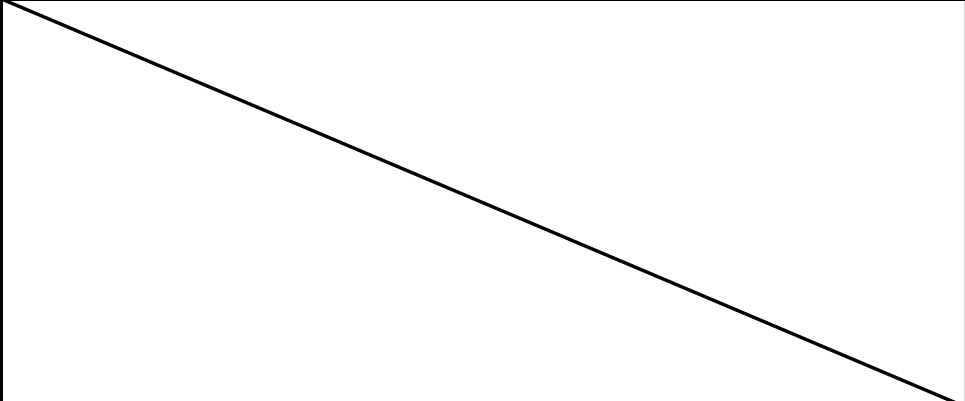


市長と語る会(H30. 3. 1ふれあい会館会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	<p>四谷地区でのわがまち支えあい協議会の活動を通じて今まであまりお見かけしなかった方々とも、知り合いになれた。非常に多くのボランティアの方々と知り合えたことは、活動を支える大きな力になっている。要望としては、活動の拠点になるところがほしい。文化センターに地域コーディネーターを配置するなど、いつでも誰でも相談に乗れる、話し合いができる場所を確保すべきと思う。</p>	<p>拠点の確保が課題と捉えている方が多い。文化センターは児童館、公民館、高齢者福祉館という3つの役目を持つ複合施設で、他の自治体ではこういった複合施設を11箇所持っているところはなく、これをやはり今後の地域のつながりの拠点として捉えることができたらいいと考えている。</p>
2	<p>ボランティアの高齢化が進んでいて、担い手がないということが一番悩みの種だ。いきいきプラザでは中学生が来て、ボランティア体験をやっている。中学生にボランティア体験をしてもらい、将来大人や高齢になったときにボランティアに対する考え方も良い方向で変わってくるのではと思う。</p>	<p>自治会やボランティア団体においても、皆さんと同じように高齢化と後継者不足の問題を聞く。中学生のボランティアについては、10年前、20年前に比べボランティアに対する意識というのは、社会で醸成されてきていると思うが、そういった意識を持つことはすごく大事なことで、防災訓練への参加など、少しずつ広がりを見せているのだろうと思う。</p>
3	<p>町内でもどんな方が住んでいるのかわからないし、知らない方も多い。高齢者になると皆さん尻込みして、なかなか活動に出てこない。今までサロンの活動をしていて、引きこもっていた方が活動に参加するようになって元気になっていく姿を見てきたので、活動の場に引っ張り出す仕掛けを考えていきたい。</p>	<p>前回の懇談会でも、女性より男性のほうが参加者が少ないことや、一歩外へ出るのが難しいこと、出番をつくってあげることによって、仲間に入ってきてくれる方がいるのではないかなど、何か仕掛けが必要だというご意見があった。</p>
4	<p>わがまち支え合い協議会の取組について話し合いをする中で、ただサロンをやるだけだと人も来ないという意見から、と農家さんの協力で、野菜を販売したり、老人会の協力を得て、輪投げや折り紙を行ったり、定着して毎回来てくださる方が出てきたり、地域のつながりが出てきている。また、世代を超えて支えあいを広げていけるように、子どもの見守り活動も実施している。この活動だったら手伝えるという方も出てきて、多くの地域の方に知ってもらおうと懇談会や報告会を実施しようかと検討中である。</p>	

市長と語る会(H30. 3. 1ふれあい会館会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
5	<p>介護職カフェという介護職の方のモチベーションを上げるための活動を行っている。介護職は、大変な仕事、離職率の高い仕事ではあるが、他の施設はどんな活動をしているのか話し合う場としてやっている。話し合いの場所がいつも固定化されてしまうので、他に拠点をお借りできたらと思う。</p> <p>東京都で認知症介護の指導者になるための研修を行っている。実践者研修、リーダー研修、指導者研修というステップアップをする研修をやっているが、申し込みが多く、抽選から漏れてなかなか受けることができないので、市独自でできないかと思う。また、地域で認知症サポーターが増えているが、サポーターになって終わりという方が多い。認知症への知識を得ても、実際に認知症の方と関わる機会は少ないので、市内の老人福祉施設と一緒に関わる機会を作るなど、フォローアップできたらいいと思う。</p>	<p>介護職カフェはすごくいい発想。認知症をお持ちの方のご家族のネットワークも大事だと思うが、介護を職業とされている方のネットワークも大切だと思う。認知症サポーターのフォローアップの話もあったが、わがまち支え合い協議会の中にサポーターが入ってこられて、より具体的な仕掛けだったり、出番が生まれてくるのではないかな。</p>
6	<p>私が参加する介護者の会では、介護する方のストレスを少しやわらげる場として、介護の辛いお気持ちなどを吐き出していただいて、介護者同士が情報交換したり、気持ちを落ちつかせる場として、月1回開いている。</p> <p>介護者とボランティアで年1回勉強会を開いているので、認知症介護指導者についても教えていただきたいと思った。</p>	
7	<p>介護者応援ボランティアとしてお手伝いをしている中でつながりができて、充実してきている。要望は、ボランティア保険を市で補助して無料にできないか。併せて学童保育の見守り保険代も検討してほしい。また、中河原と西府、多摩総合医療センターを結ぶ新府中街道を南北に行き来するバスがあったらと思う。</p>	

市長と語る会(H30. 3. 1ふれあい会館会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
8	<p>福祉の現場では、一般の市民には情報が行き届いていないことを痛感する。生活保護や認知症など、福祉に関連するものを広報ふちゅうに載せるなど、少しでも知識が入るようなきっかけや情報が手に入る方法があればいいと思う。介護されている側に知識がないために、我慢をしてしまうことがよく起きている。</p>	<p>具体的に様々なケースで介護者を支える側も一生懸命支えていただいているが、社会、市民全体がどういうふう理解していくか、見て見ぬふりをすることになってしまうこと、置き去りにになってしまうのが一番怖く、悲しいことと思う。</p>
9	<p>福祉の相談では、ますます複雑で困難なケースが増えていると実感している。地域福祉権利擁護事業では、専門員と生活支援員が支援していくが、生活支援員の仕事のモチベーションを維持できるようにするために、専門員が専門性を日々自己研鑽する必要があると感じている。人材も人財として、材料の材でなく、財産の財で、人を大事にするところが組織としても生き残っていくと思う。事業も担い手あって継続できるのだと思う。</p>	
10	<p>生活支援員の養成講習等を行っているが、生活支援員が認知症や精神障害の方の生活に接して、どのような状況か、どのような配慮があれば安心して地域で生活を送ることができるか利用者からも学んで、それを地域に広げ市民が活躍する場を作り、参加しやすい仕組みづくりを考えていきたい。</p>	
11	<p>在宅福祉助け合い事業は、利用者が60歳以上の高齢者、または障害のある方で、介護保険の非該当となる方への援助ができるのがこの事業のよいところだ。協力会員として多くの方が活動しており、毎回訪問をすごく楽しみにしている利用者も多い。協力会員も活動することが生きがいになっていたり、誇りになるというお話をよく聞く。課題としては、協力会員の高齢化と担い手不足だ。若い方がなかなか入ってこない。わがまち支え合い協議会が発展していくことで、担い手を広く募集したり、有償、無償のボランティアに関わらず、様々な活動ができていくのではないかと思う。</p>	

市長と語る会(H30. 3. 1ふれあい会館会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
12	<p>西府圏域では地域のつながりが薄くなっているというところから、気軽に集まれるサロンを事業所をお借りして設置した。サロンが知られてくるとサロンに行きたくても、なかなか外に出てこられない人がいることもわかり、そういう方のことも考えていけたらいいという大きな目的も持っている。いろいろな視点を交えながら話せる場というのは、大切と感じていて、今後も地域に住む方々の声を聞きながら、できることを一歩ずつ進めていけるようにしていけたらと思う。</p>	
13	<p>押立地区のわがまち支え合い協議会の地域活動として、自分達で企画を立てたイベントや担い手育成ボランティア養成講座を行ったり、介護保険外のお手伝いを行うボランティアを始めるなど、少しずつ活動が広がっている状況だ。今後は、各団体の壁がなくなり、情報交換をしながら、他団体の活動も参考にしてモチベーションを高めていけたらいいと思っている。</p>	
14	<p>地域福祉コーディネーターとして地域の方と、どのように歩いていくのか。一緒に寄り添うという立場で考えつつ、試行錯誤の連続だが、地域の方ともかかわりながら、何でも話し合えるような雰囲気になっている。その中で様々な活発な意見が出ると、自分自身やりがいと、携わってきてよかったなと感じる。</p>	<p>お話を伺って、地域福祉のキーパーソンが次のキーパーソンを育てて、つなげていくということの大切さと、それを実行していくことの難しさを感じた。多くの方に気付いてもらい、広げていくことが重要だと思う。</p>
15	<p>ボランティアも担い手もそうだが、参加する人自体が少ない。様々な機会で行っているが、同じような目的で活動している団体同士を結びつけていくこと等を考えなくてはならない。</p>	<p>様々な団体が熱心に活動を行っていて、素晴らしい活動をしていると思うが、団体間をうまくつないで結びつけていくという新しい発想もあるのではと感じた。</p>

### 市長と語る会(H30. 3. 1ふれあい会館会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
16	<p>自治会や老人会など様々な方が1つのネットワークをつくりながら、ひとり暮らしの皆さんの生活を支えたり、つながりを持つという活動をしているが、個々のネットワークが真に結ばれていないのではと思う。これには、個人情報保護法の改正で、個人情報や名簿の管理に制約があり、ネットワーク作りでネックになるのではと危惧している。行政の方から運用のノウハウを教えてください。</p>	<p>地域のつながりをつくるという話では、個人情報保護の壁というものに行き着いてしまう。リーダーシップを発揮しようとするほど、その壁に当たってしまうのは、過去の「市長と語る会」でも、話題となってきた部分であり、どのような対応ができるのか、担当に研究させたい。</p>
17	<p>地域福祉コーディネーターとして、最初は地域のことが全く分からなかったが、自治会や老人会、地域の皆さんが優しく教えていただきました。地域それぞれの特色や地域性もあり、難しいところもあるが、頑張っていきたい。</p>	<p>様々な苦勞に直面されることもあると思うが、皆さんは地域のキーパーソンだと思うし、次の方につなげ、後継者を育てていただくことも大切なことと思う。市でいうと文化センターの所長は、似たところがあり、地域をよく知らずに配置をされて、最初はいろいろ叱られたりもしているが、そのうちに周囲に育てていただき、支えていただいて、次第に今度は支える側になっていく。支えあいというのは、人から人へつなげていくことと、おそらく同じだろうと思う。</p>